

# 令和3年度 5歳児 「運動会リレー」

(令和3年度実践前修正箇所を斜体、  
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

## 2. 設定の理由

3歳児は、自分達の遊び場の横で、5歳児がリレーをしている様子遊びながら目にしている。4歳になると、5歳児がするリレーを憧れて見たり、ただ見ているだけにとどまらず、旗をつくって応援したり時には自分も入りたいとって好きな遊びの中でのリレーに仲間入りしたりする子どももいる。また、4歳の園庭にコースを作ってもらってリレーごっこを楽しんだり、自分達でもリレーをするコースを考えて作ったり、距離を伸ばしたり、~~5歳児が運動会で走るコースを使ってみたり~~して繰り返し楽しんできている。

5歳児になると、いよいよ自分達が運動会でリレーをできることを喜び、ほとんどの子どもが運動会で走るコースを使ってリレーをすることを楽しみにしている。4歳児や他のクラスの教師の応援も受け、自分達でより速く走れるように練習したり、一生懸命走っていない友達やいいかげんなバトンの渡し方をしてくる友達を許さなかったりし、勝ち負けにこだわり、勝てるようになるにはどうしたらよいかを考えてクラスの友達と一緒に心と力を合わせて取り組むようになっていく。その過程で、条件を公平にするためにルールが必要なことを、ルールのある遊びを体験して学んでいき、必要なルールを決めていこうとしたり、必要があって納得して決めたルールを進んで守ろうとするようになっていく。また、条件を公平にするために人数を揃えることが必要になり、自分達の生活の中で必然的に数量に関する学びも期待することができる。

繰り返し取り組む中で、1回でも勝つ喜びが味わえるように、あきらめずに取り組もうとする子どもの気持ちを支えていきたい。そのためには、走ることが速くなってきていることを自覚できるように、何度も走って練習しようと思えるように、そして、その気持ちがクラスの子どもの中に広がり、一緒にみんなで頑張ろうと思えるように気持ちを盛り上げていきたい。

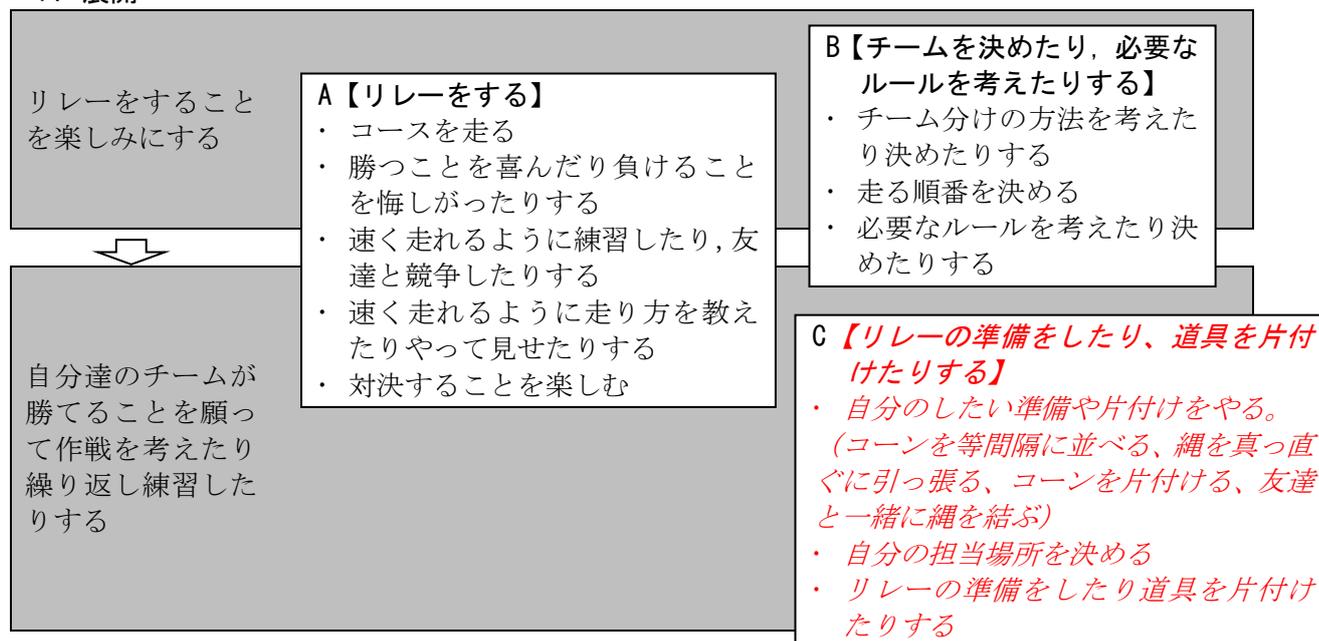
## 3. ねらい

- |  |  |
|--|--|
| ① <u>速く走りたい、勝ちたい、抜かしたい、抜かされたくない、こけないようにカーブを走る、前よりも速く走れるようになりたい、バトンを落とさないなど、自分の目標に向けて何度も練習しようとする。</u> | 自ら決める・選ぶ<br>問題を認識する                          |
| ② <u>速く走れた、勝った、抜かした、抜かされなかったなど、自分の目標を達成したことや目標に向けて一生懸命頑張ったことに満足する。</u>                               | 自分に満足する<br>自分を客観的に把握する                       |
| ③ <u>一緒に頑張ったり励まし合ったりする友達がいるよさを感じたり、勝ったことを一緒に喜んだりする。</u>  | 他者という喜びを感じる                                  |
| ④ <u>友達の頑張りが、足の速さに気付いたり、友達の表情、動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったりする。</u>                           | 他者のことを知る                                     |
| ⑤ <u>速く走るために、勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に走ったり、頑張っている友達を応援したりする。</u>                          | 人とものごとをすすめる<br>問題を認識する<br>豊かに発想し、追求の手立てを構想する |
| ⑥ <u>公平にするためにチームの人数を同じにすることや、どこを走るのかなど、みんなが同じルールですることの必要性を感じ、友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようとする。</u>           | 人とものごとをすすめる<br>問題を認識する<br>豊かに発想し、追求の手立てを構想する |
| ⑦ <u>力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感を感じる。</u>   | 身体を操作する                                      |
| ⑧ <u>どのようにしたら速く走れるのかを考えたり、走るのが速い友達の走り方を見たりして、腕を大きく速く振ったり足を大きく動かしたりして速く走ろうとする。</u>                    | 身体を操作する<br>問題を認識する<br>豊かに発想し、追求の手立てを構想する     |
| ⑨ <u>コーナーを曲がる時に外側に広がってしまう走りにくさを感じ、走りやすくなるように、身体を傾けたり、<del>腕を回したり</del>、バランスを取るために速さを緩めたりする。</u>      | 身体を操作する<br>問題を認識する<br>豊かに発想し、追求の手立てを構想する     |
| ⑩ <u>チームの人数を揃えるために、<u>数えたり、並んで対応させて数えたりしようとして</u>り、差を感じたり、足りない人数を埋めるには2回走る人がいればいいと感じたりする。</u>        | 数・量を数理的にとらえる<br>比較する                         |

- ⑪ 競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がりたりしたこと、速さを感じる。

数・量を数理的にとらえる

#### 4. 展開



A【リレーをする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コースを走る</li> <li>・ 勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする</li> <li>・ 速く走れるように練習したり、友達と競争したりする</li> <li>・ 速く走れるように走り方を教えたりやって見せたりする</li> <li>・ 対決することを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○速く走りたい、勝ちたい、抜かしたい、抜かさなれない、こけないようにカーブを走る、前よりも速く走れるようになりたい、バトンを落とさないなど、自分の目標に向けて何度も練習しようとする①</li> <li>○速く走れた、勝った、抜かした、抜かされなかったなど、自分の目標を達成したことや目標に向けて一生懸命頑張ったことに満足する②</li> <li>○一緒に頑張ったり励まし合ったりする友達がいるよさを感じたり、勝ったことを一緒に喜んだりする③</li> <li>○友達の頑張りや、足の速さに気付いたり、友達の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一人一人の子どもが、具体的な目標を意識できるように、勝ちたいという気持ちを盛り上げ、勝つためには何に気を付けたらいいのか考えさせたり、自分はどうなりたいと思っているのかを聞いたりする。</li> <li>◎繰り返し練習することを楽しめるように、教師も一緒に走ったり、走っている姿を応援したりする。</li> <li>◎自分の目標に向けて頑張ったことに満足できるように、以前と比べて、速く走れたり、友達を抜かしたり、いつも抜かされている友達に抜かされなかったり、バトンを落とさずに渡せたりなど、一人一人の子どもが頑張っていることを具体的にほめる。また、自分で頑張ったと思っているところを聞いて受け止める。</li> <li>◎一緒に頑張る仲間がいるよさを感じられるように、応援してくれたり教えてくれたりする友達がいる嬉しさを言葉にしたり、支え合う心地よさを一緒に喜んだりする。</li> <li>◎クラスの友達みんなと勝つ喜びを味わえるように、勝てた時には一緒に喜んだり、まけた時には悔しい気持ちに共感したり、次に勝てるよう励ましたりする。</li> <li>◎友達の頑張りや個性、気持ちや考えを感じられるように、友達の走る姿や話に注目できるよう知</li> </ul>

	<p>表情、動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったりする④</p> <p>○速く走るために、勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友だちに教えたり、一緒に走ったり、頑張っている友達を応援したり、勝ったことを一緒に喜んだりする⑤</p> <p>○力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感を感じる⑦</p> <p>○どのようにしたら速く走れるのかを考えたり走るのが速い友達の走り方を見たりして、腕を大きく速く振ったり足を速く動かしたりして早く走ろうとする⑧</p> <p>○コーナーを曲がる時に外側に広がってしまう走りにくさを感じ、走りやすくなるように、身体を傾けたり、<b>腕を回したり</b>、速さを緩めたりする⑨</p> <p>○競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたこと、速さを感じる⑩</p>	<p>らせたり場や時間を作ったりする。</p> <p>◎みんなが速く走ろうと一緒に取り組めるように、速く走るために自分が考えていることや、速く走るためのコツを教えている姿をほめたり、伝え合う時間をもったりする。</p> <p>◎みんなで勝とうと心を合わせて取り組めるように、一緒に走って練習したり頑張っている友達を応援したりする良さを伝えたり、その姿を知らせたり、教師も一緒にしたりする。</p> <p>*力いっぱい走りきる気持ち良さやスピード感を感じられるように、走るために必要で満足できる距離を確保してコースを用意する。</p> <p>◎速く走るためのコツが分かるように、友達のコツを聞かせたり、走っている様子を見せたり、走っている時に、具体的に何に気を付ければいいのか声をかけたりする。</p> <p>*速く走るコツをいろいろ試したり、感じながら何度も練習したりできるように、クラスでの時間もとる。</p> <p>*走りながら、コーナーを回る時の様々な感覚を味わったり、コースに合わせて動き方を様々な調整したりしようとするように、様々なコーナーがあるコースを使う。</p> <p>◎コーナーを走る時のよい方法をいろいろ試してその違いを感じられるように、コーナーを走るときに感じることを尋ねたり、どうすれば走りやすいか感じたり考えたりしていることを尋ねたり、友達の考えを聞かせたりする。</p> <p>◎いろいろな友達の走る速さを感じられるように、様々な場所で、競争する機会をつくったり、繰り返し走ろうと思えるよう教師も一緒に走って雰囲気盛り上げたりする。</p> <p>*友達の走っている様子がよく見えるように、友達を見たり応援したりする時には、コースに平行に並ぶ場所を設定する。</p>
--	---	---

B【チームを決めたり、必要なルールを考えたりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チーム分けの方法を考えたり決めたりする</li> <li>・ 走る順番を決める</li> <li>・ 必要なルールを考えたり決めたり</li> </ul>	<p>○公平にするためにチームの人数を同じにすることや、どこを走るのかなど、皆が同じルールですることの必要性を感じ、友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようとする⑥</p> <p>○チームの人数を揃えたり</p>	<p>◎友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようとするように、おかしいと思ったことを出し合い、いろいろな考えを聞いたり、考えたことを実際にやってみたりして、みんなが納得する解決方法を見つけたことを一緒に喜び、みんなが納得する解決方法を見つけ出すよさを感じさせる。</p> <p>◎遊びの必要から数を数えたり揃えたり差を感じ</p>

する	めに、数えたり、並んで対応させて数えたりしようしたり、差を感じたり、足りない人数を埋めるには2回走る人がいればいいと感じたりする⑩	たり足りない人数を埋めようとしたりできるように、人数が違うと勝負の結果が左右されることを感じさせたり、子どもたちが数えたり揃えたりするために考えていることを尋ねたり、していることを言葉にしたり、考えていることを一緒にしてみたりする。
----	---	--

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| ① この役割をしようと思って決めたり、縄が絡まることや縄を真っ直ぐ置くことに難しさを感じながらも、何度もやり直して最後までやり遂げようとしたりする。  | 自ら決める・選ぶ                        |
| ② 年長になったことを自覚し、自分たちで準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったことを感じて自信をもつ。   | 自分に満足する                         |
| ③ 友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、声を掛け合ったりやり方を考えたり確認したりして決めた役割を責任もってしようとする。   | 人とものごとをすすめる                     |
| ④ コーナーを分かりやすくするためにコーンを使うよさを感じたり、長縄のほどきにくさを感じて結び目をよく見ながら引っ張る部分を考えたり、結びにくさを感じて、端と端を合わせたり、たるみがないように合わせてから結んだりするなど、道具の特徴を感じ、扱い方に慣れながら準備や片付けをしようとする。 | 道具をあやつる                         |
| ⑤ 隣との距離を考えてコーンを置いたり、 <u>等間隔に置いているか確認したり、距離が近かったり離れたりにしていることを感じてやり直したりする。</u>  | 空間をとらえる<br>問題を認識する<br>実行し、判断を下す |

【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のしたい準備や片付けをやってみる (コーンを等間隔に並べる、縄を真っ直ぐに引っ張る、コーンを片付ける、友達と一緒に縄を結ぶ)</li> <li>・ 自分の担当場所を決める</li> <li>・ リレーの準備をしたり道具を片付けたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この役割をしようと思って決めたり、縄が絡まることや縄を真っ直ぐ置くことに難しさを感じながらも、何度もやり直して最後までやり遂げようとしたりする。</li> <li>○ 年長になったことを自覚し、自分たちで準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったことを感じて自信をもつ。</li> <li>○ 友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、声を掛け合ったりやり方を考えたり確認したりして決めた役割を責任もってしようとする。</li> <li>○ <u>コーナーを分かりやすくするためにコーンを使うよさを感じたり、長縄のほどきにくさを感じて結び目</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎いろいろな役割の中から自分のしたい役割を決めて、最後までやり遂げようとするように、<u>それぞれが準備と片付けを一度は経験する機会を作ったり、最後までやり遂げようとする姿を褒めたり、応援したりする。</u></li> <li>◎年長になったことやできるようになったことを自覚して自信をもてるように、年長だからこそ自分たちで準備や片付けができることを伝えたり、難しさを感じていたことができるようになっていたことを言葉にしたり一緒に喜んだりする。</li> <li>◎自分たちで競技の準備や片付けをするために、できることを見つけてしようとしたり、決めた役割を責任もってしようとしたりするように、困っている友達がいることを知らせたり、最後まで責任を持ってやっている姿を皆んなで応援しながら待ったり、それぞれの役割を思い出せるように画用紙に書いておいたりする。</li> <li>◎道具の特徴を感じて使ったり、扱い方を知ったり慣れたりするように、<u>角をショートカットをしてしまう問題をあげて対策を一緒に考えたり、走ってみてどうか尋ねたり、扱いに慣れている友達の姿を見せて何</u></li> </ul>

	<p>をよく見ながら引っ張る部分を考えたり、結びにくさを感じて、端と端を合わせたり、たるみがないように合わせてから結んだりするなど、道具の特徴を感じ、扱い方に慣れながら準備や片付けをしようとする。</p> <p>○ 隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置けているか確認したり、距離が近かったり離れたりしていることを感じてやり直したりする。</p>	<p>が違うか、何がポイントか一緒に考えたり、友達がしているところを見ながら具体的に言葉にして伝えたり何度も挑戦できる機会を作ったりする。</p> <p>◎隣との距離や等間隔になることを意識してコーンを置いたり、<u>縄が直線になっているか確認して縄を置いたりするよう</u>、目印になるコーンの位置を決めたり、少し離れて間隔をみることを勧めたり、どのくらいの距離なのか歩幅で確認して見せたり、<u>直線にするために縄の前後で位置を確認する方法を見せたりする。</u></p>
--	---	--